

# 行ってきました！

全米最大

世界のビーズファンがアメリカ、ミルウォーキーに集結。全米で最大規模のビーズショー「BEADS&BUTTON Show」が今年も開催されました。本場でオフルームを学びたいという水野久美子さんが日本から参加。ビーズの本の編纂などビーズのお仕事に携わる水野さんから見たビーズショーをレポーターしてもらいました。

取材・文 水野久美子

## ビーズのお祭り、ビーズショー

今年5月、アメリカのウイスコンシン州ミルウォーキーで行われたビーズショーに行ってきました。

2週間に1度はどこかで開催されているというほどビーズショーが盛んなアメリカ。今回私が参加したのは中でも、アメリカと言われる「BEADS&BUTTON Show」。ビーズ雑誌「BEADS&BUTTON」の主催で、8日間にわたって開催され、期間中に行われるワークショップ（講習会）200、マーケットプレイスに参加するブース300という一大イベント。年に一度のこのビーズショーを楽しみしているビーターや買付けが目的の業者など、国内だけでなく世界中から集まってくる、まさに「ビーズのお祭り」なのです。

成田を出発して11時間後デトロイトに、さらに国内線に乗り換えて1時間、ミルウォーキーには夕方到着。時差の疲れを癒す間もなく、翌日から早速、メイン会場であるホテ

# 憧れのビーズショー

ルで行われたワークショップに参加しました。

## オフルームの作品に魅せられて

私が申込んだのは、3つのクラス。この中で一番楽しみにしていたのが、オフルーム手法の第一人者ダイアン・フィッツジェラルドのクラスです。日本で主流のテグスと違い、針と糸で作るオフルームのアクセサリーはしっとりとした肌なじみのような心地よい装着感があり、デザイン性に



初日に参加したポーレットのクラス。授業スタイルは講師によってさまざま



オフルームの第一人者ダイアンと筆者。

も優れ、昨年初めて見て魅了されました。それ以来アメリカから本を取り寄せたりして自分なりに勉強しましたが、オフルームを専門に教えられる人が日本にはまだ少なく、本場でオフルームを学びたいというのが、今回の最大の目的でした。

ダイアンの授業は、朝の9時から、ランチタイムを挟み、夕方まで。そう聞くと大変だと思われるかもしれませんが、参加者同志おしゃべりしたりと和やかな雰囲気の中で、楽しい時間を過ごしました。

大会オリジナルのバッグとTシャツ。バッグはワークショップ参加申込みしたらもらえる。



参加者バス

